“ミート・ザ・エキスパート”

大学の講義で聞けないエキスパートの生の声を聴きに行こう

第80回日本癌学会学術総会では学生向けの特別セッションを実施します。

基礎・臨床研究のエキスパートの講演を聞き、直接質問できる貴重な機会となっています。

9月30日は佐谷秀行先生、10月1日は矢野聖二先生、10月2日は高橋暁子先生に

ご講演いただきますので奮ってご参加ください。

事前申込は不要となっておりますので、参加を希望する方は直接会場にお越しください。

お昼の時間に実施しますので、お弁当をこちらで提供致します。

未来のがん研究を担う君たちに

日時●9月30日（木）　11:50～12:40　　会場●展示ホール内ピッチセミナー会場

●講　演　者

佐谷 秀行先生（慶應義塾大学医学部教授）

1981年神戸大学医学部卒業、同大学脳神経外科研修医、1987年神戸大学大学院医学研究科（博士課程）修了、1987年UCSF脳腫瘍研究センター研究員、1988年テキサス大学M.D.アンダーソン癌センター・神経腫瘍部門Assistant Professor。1994年熊本大学医学部腫瘍医学講座教授、2007年より慶應義塾大学医学部教授。2021年より一般社団法人日本癌学会理事長。専門は腫瘍生物学。

学部学生への一言

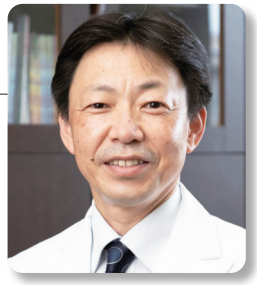
がんという疾患に興味を持ってくれる学生さんが一人でも増えてくれることを願っています。解決すべき問題はまだ沢山残っていますので、是非将来研究に参加してください。

肺がんの分子標的薬耐性の克服を夢見て

日時●10月1日（金） 11:50～12:40　会場●展示ホール内ピッチセミナー会場

●講　演　者

矢野 聖二先生（金沢大学がん進展制御研究所腫瘍内科）



1990年徳島大学医学部医学科を卒業。徳島大学大学院でがん研究をスタート。1997年から2年間米国MDアンダーソンがんセンターで転移研究に従事。帰国後ゲフィチニブの企業治験で分子標的薬に出会う。劇的な奏効と耐性の問題を体感し、2007年に金沢大学に異動後は一貫して分子標的薬耐性の研究を行っている。成果を臨床に届ける研究を目指している。

学部学生への一言

目の前のがん患者さんから学び、より良い治療を届けるために研究しています。次世代を担うあなたに、がん研究の大切さと素晴らしさをお伝えできればと思います。

癌研究ノススメ

日時●10月2日（土） 11:50～12:40　会場●展示ホール内ピッチセミナー会場

●講　演　者

高橋 暁子先生

（公益財団法人がん研究会 がん研究所 細胞老化プロジェクト・プロジェクトリーダー
公益財団法人がん研究会 NEXT-Gankenプログラム
がん細胞社会成因解明プロジェクト・プロジェクトリーダー兼任）

1999年北海道大学歯学部卒業、2003年博士（歯学）取得。2004年徳島大学ゲノム機能研究センター博士研究員、2005年日本学術振興会特別研究員（PD）を経て、2007年がん研究所研究員、2012年主任研究員として勤務し、2017年細胞老化プロジェクトを主宰。JST/さきがけ・AMED/PRIME研究員を兼任し、2020年NEXT-Gankenプログラムがん細胞社会成因解明プロジェクトのプロジェクトリーダー兼任。

学部学生への一言

がんという病気にはまだまだ未知の部分が多く、人類ががんを克服するためには更なる基礎研究が必要です。将来を担う皆さんに、ぜひ私たちと一緒にがんと闘う研究者を志していただきたいと願っています。